

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

「自ら考え 落ち着いて学習に取り組む児童の育成」
～確かな学力の育成～

＜本年度の学力向上策＞

- 1 わかる授業の工夫
 - (1) 聞き取りやすい声、話す聞くのけじめ、適切な指示と発問、板書の工夫（ユニバーサルデザインの視点）
 - (2) ICT 機器の活用、教材教具の工夫
- 2 個に応じたきめ細かな指導
 - (1) 基礎学力の定着（復習や反復学習）
 - (2) 家庭学習の定着（見届け）
- 3 学習規律や学習習慣の育成
 - (1) 授業はチャイムで始まりチャイムで終わる
 - (2) 授業三悪の追放（手悪さ、おしゃべり、忘れ物）
- 4 体験的、課題解決的な学習
 - (1) 考える時間や話し合う時間の確保
 - (2) 自分の考えや感想を発表する時間の確保
 - (3) 書く活動をする時間の確保
- 5 図書室・PC室を利用した学習
 - (1) 授業での図書資料・インターネット資料等の活用の充実
 - (2) 読書活動やICT機器活用の充実

＜本年度の振り返り＞

- ・わかる授業の工夫として取り組んできた結果、学校生活アンケートでは93.7%の児童が授業がわかる・理解できていると回答している。
- ・個に応じたきめ細やかな指導では、ティーム・ティーチングや朝の基礎力定着の時間を活用し、基礎学力の定着を図った。また、家庭と連携して宿題の量については個別に対応し、家庭学習の定着・見届けを図った。
- ・授業の単元を工夫して、児童に考える時間や話し合う時間を確保していくことで、自ら考えることができるようになってきた。
- ・本に親しんだり、読んだりする時間を確保することで、図書室の一人当たりの貸出作数の平均が1.8冊増加した。